

## OU-SDGs プログラム活動報告

プログラム詳細



<https://ou-sdgs.celas.osaka-u.ac.jp/>

全学教育推進機構は、令和6年度春夏学期から大阪大学全学部学生に対する「OU-SDGs プログラム」の提供を開始しました。ここでは、今年度の本プログラムの活動についてご紹介します。なお、詳細はプログラム Web ページよりご覧ください。

### プログラム実施状況

OU-SDGs プログラムは、複雑化する社会課題の解決に貢献し、「いのちを大切に、一人ひとりが輝く未来社会」の実現に資する人材を育成する学部教育プログラムです。令和6年度春夏学期には、107名の学部生がプログラムに登録し、春夏学期終了時に6名がプログラムを修了し、修了認定証(日・英)を発行しました(2024年10月末時点)。

また、学外との連携促進のため、プログラム構成科目でのゲスト講義への支援9件を実施したほか、2025年1月に開催された株式会社パナグループが主催する「国際大学ラウンドテーブル 2025 in Awaji」への参加支援を実施しました。

### イベント実施

2024年3月に開催された『「学問への扉」高大接続シンポジウム』において、OU-SDGs プログラムを紹介しました。また、6月には、ららぽーとEXPOCITYで開催された大阪大学共創 DAY@EXPOCITY 2024『キラめく科学・トキめく未来』に出展しました。出展したブース「SDGs カードゲームで持続可能な未来を創造!」では、約840名の方にご来場いただきました(右写真)。



### SDGs 教育調査



2024年8月には、海外でのSDGs教育の調査のため、ドイツのハンブルク大学、ハンブルク工科大学、そしてハーフェンシティ大学を訪問しました。ハンブルク大学では、大学におけるサステナビリティ教育、リベラルアーツ・科学教育、国際交流等について意見交換を行いました(左写真)。また、ハンブルク工科大学とハーフェンシティ大学は、ドイツ国内8大学の連携により実施されている教育プログラム「SDG-Campus」で中心的な役割を担う2大学で、複数大学の連携によるサステナビリティ教育や今後の交流等について意見交換を行いました。

### プログラム評価

2024年5-6月および11月には、プログラム登録時の履修生の調査とプログラムの改善を目的としたアンケート調査を実施しました。履修生のプログラム構成科目やプログラム外のイベントに対する期待を確認することができ、今後のイベント企画や学内外のコラボレーションの参考にしていきたいと思います。11月には更に、令和6年度春夏学期OU-SDGs プログラム修了者へのインタビューも実施しました(右写真)。



### 大阪大学賞受賞



最後に、「OU-SDGs プログラム運営・開発チーム」が、「OU-SDGs プログラムの開発と展開」に対して、令和6年度大阪大学賞(大学運営部門)を受賞しました。今回の受賞を励みとし、今後も継続的に本プログラムを発展していけるよう、チーム一同一層精進していきます。



<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2024/12/02001>



# 令和6(2024)年度 着任教員紹介

2024/4/1 着任

全学教育推進機構 副機構長 共通教育実施推進部長 高谷裕浩 教授

2024年4月に共通教育実施推進部長に着任し、重責に身の引き締まる思いです。専門は計測学、研究テーマは機械工学におけるナノ加工計測とメトロロジです。研究室理念を“挑越”と定め、光を駆使した基本原理の開拓から生産技術の開発まで、NanoSmart：加工・計測の知的融合をめざしています。

趣味は嗜む程度の運動と、最近目覚めた酒蔵巡りです。学生時代は陸上、野球の選手でした。雪景色と雪質が別格の北海道で鍛えたスキーと、スケートは得意技です。

初年度(2015年)から6年間SEEDSプログラムの運営委員を拝命し、高大接続の要としての大学初年度教育の重要性を実感しています。学習(習って学ぶ)から学問(自ら問うて学ぶ)への道程を照らす共通教育の充実に尽力したく存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2024/4/1 着任

全学教育推進機構 スポーツ・健康教育部門 難波秀行 准教授



2024年4月に着任しました、スポーツ・健康教育部門の難波秀行です。専門は、スポーツ科学、身体活動と運動疫学、スポーツ栄養学です。約20数年ぶりに大阪に戻ってきて、懐かしさと変化に戸惑いながら、やっぱり大阪いいよね～と思いながら日々過ごしています。

私は、社会が便利になった反面、世界中の人々において身体活動が低下し、その結果、非感染性疾患が増加し続けていることに問題意識を持っています。体を動かし人々との交流を図ることは、体力の維持増進、良好なメンタルヘルスを保つことにもつながります。好きなスポーツは、陸上競技、野球、ゴルフ、サイクリングです！



研究にまつわるクイズ?!

「スポーツ」の語源は何か知っていますか？

答えはこちら



# 修学環境の整備について

～より快適な学びの環境を目指して～



全学教育推進機構では、クラス代表懇談会などでいただいた学生の皆さんからのご意見を参考に、教育環境の改善に努めております。

令和6年度より、これまでに多くのご要望をいただき、長年の課題となっておりましたトイレ改修、講義室内の空調やAV機器の更新、そしてPC専用充電スポットの増設について、大学執行部および本部事務機構財務部・施設部の支援のもと、段階的に整備を進めています。

## 01 トイレ改修工事について

- A棟・B棟の和式トイレを洋式化し、より快適にご利用いただけるようになりました。
- C棟のトイレは全面的に改修し、明るく使いやすい空間に生まれ変わりました。
- C棟各階には、誰もが利用しやすいALL GENDERトイレ（多機能トイレ）を設置しました。うち、2～4階については、同トイレ内にフィッティングスペースを設けています。
- 可能な限りバリアフリー化を進め、誰もが安心して利用できるトイレを目指しています。



## 02 講義室内設備の充実について

- 講義室内のAV機器（AVシステム、音響機器、プロジェクター）は、利用頻度の高い講義室から順次、最新のものに更新しています。
- より安全性の高い実験設備を導入するため、順次設備の更新を行っています。
- 講義室内でのPC利用の利便性向上のため、固定機の講義室を中心に、電源（分電盤やコンセント）の設置工事を進めています。

夏休み等の休業期間の他、授業期間においても一部工事を行うこととなるため、工事期間中は、皆様へ何かとご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。全学教育推進機構では、今後も、より快適な学びの環境づくりに取り組んでまいります。



大阪大学 全学教育推進機構  
教育学習支援部  
Department of  
Teaching & Learning Support

# 生成AIに関する学内アンケート

浦田 悠（教育学習支援部）

[https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/generative\\_ai/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/project/generative_ai/)



OpenAI社が生成AIのChatGPTを発表してから2年が過ぎました。多くの先生方はすでに授業や研究で生成AIを活用されていると思いますし、学生がすでに様々な学習活動に利用していることを実感されている先生もおられるかと思います。ここでは、阪大の教員や学生の生成AIの利用状況の調査の概要をご紹介します。

本学では、2024年3月から4月にかけて、教員245名と学生206名を対象に、生成AIの教育利用に関するアンケート調査が実施されました。教員については、64.1%が生成AIを利用中で、9.4%が過去に利用経験がありました。利用中の教員のうち、有料版の利用は、

29.9%となっています。利用場面では研究(63.1%)や業務(65.6%)が多く、教育利用は29.3%にとどまりました。教育利用における可能性として、翻訳支援(75.1%)や対話型学習(33.1%)が挙げられる一方、不適切な利用(75.5%)や信頼性(74.3%)への懸念も指摘されています。また、年齢・教育年数と利用頻度・積極的な活用・学習効果の認識との間に負の相関が見られました。学生については、生成AIを現在利用している割合はちょうど50%で、利用目的は情報検索(50.5%)、問題解決(47.6%)、翻訳(46.6%)など幅広く、25.5%が授業やゼミで使用していることが分かりました。有料版の利用率は14.6%となって

おり、一部の学生はかなり日常的に利用しているようです。また、生成AIが教員に取って代わる可能性については45.1%が「はい」と回答し、試験採点のAI化については賛否が分かれました。

このように、教員と学生双方がすでに生成AIを広く利用しており、AIリテラシーを身に着けることがますます求められています。教育学習支援部のウェブサイト「生成AI教育ガイド」では、教育における生成AIの利活用について、これからも様々な情報を掲載していく予定ですので、またご参照いただければ幸いです。

## 新規開講

春夏学期 基盤教養教育科目（総合型科目）

# 「実践プレゼンテーション入門 ～営業学に学ぶ」



令和6年度からプルデンシャル生命保険株式会社の協力を得て「実践的プレゼンテーション入門～営業学に学ぶ」を開講しました。この講義では、ビジネスの最前線で活躍するライフプランナーが講師を務め、「営業」という職種を通じて得られるリーダーシップや人間的成長の魅力と可能性を体系的に伝えることを目的としています。営業プロセスや実践的なスキルを学びながら、キャリア形成や自己成長を促すプログラムには学生から高い

関心が寄せられ、キャリアに関する自主研究を開始する学生も現れました。最終回では、10グループが大学生活等のお困り事の解決に向けたプレゼンテーションのコンペを行い、大いに盛り上がりました。また、授業アンケートでは「春夏学期で最も実生活に役立つ授業」のひとつとして、多くの学生から高い評価を受けました。

## イベント報告

### 1年生クラス代表懇談会

2024年6月19日・20日（春夏学期）、12月19日・20日（秋冬学期）にそれぞれ2日間 DAICEL Studio で開催しました。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/activities/class-mtg/>



### R6（2024）年度「大阪大学全学教育優秀賞」

49名の学生が受賞し、2024年12月6日に表彰式を挙行了しました。

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/top-50-of-osaka-univ/>



### 第9回大阪大学豊中地区研究交流会

2024年11月22日に基礎工学国際棟にて開催され、当機構教員がポスター発表を行いました。

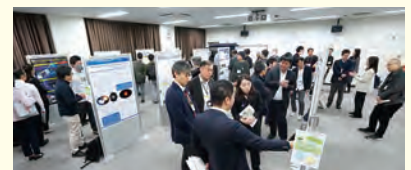
#### ◆金森 サヤ子

「基盤教養教育科目『世界は今』を通じた授業実践と教育・学習成果—学部生からの学際融合教育の重要性に関する考察—」

#### ◆長岡 徹郎

「京都学派の哲学における『宗教』理解の検討」

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2024/12/09001>



## お知らせ | 大阪大学高等教育研究

<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/publications/ouhes/>



全学教育推進機構では毎年度「大阪大学高等教育研究」を発行しています。本誌は、高等教育に関する学術論文、大阪大学における高等教育の研究・実践に関する論文を掲載しています。

次号の原稿募集は2025年4月14日締め切りです。執筆要領のほか、投稿の方法やバックナンバーなどの詳細を機構HPに掲載しています。みなさまのご投稿をお待ちしています。



ニュースレターのバックナンバーはこちらから ▶▶▶ <https://www.celas.osaka-u.ac.jp/publications/newsletter/>

